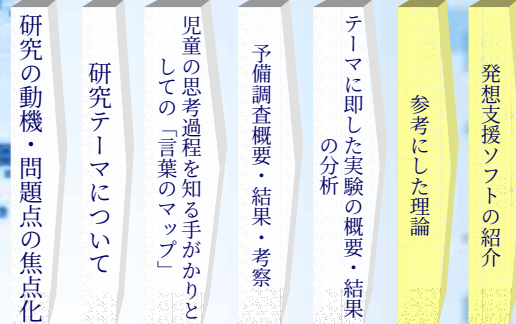


研究経過報告

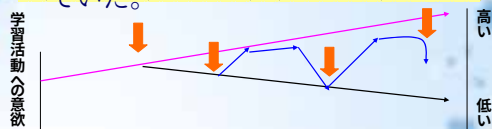
2005, 7, 6
白子小学校
穴澤真由子

「学習用語に着目した授業の展開と 学習効果の分析」

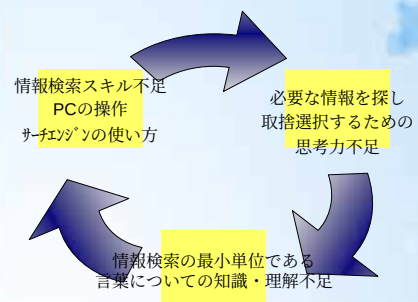


研究の動機

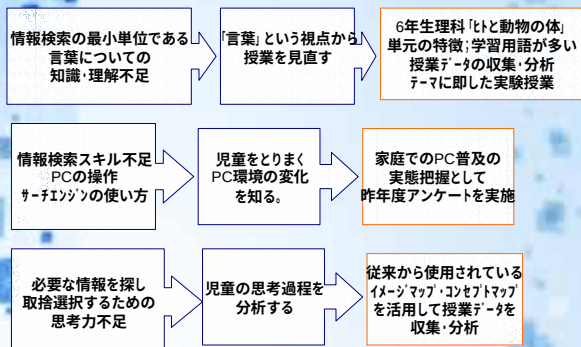
▶ 児童がWeb上から学習に必要な情報を探していくとき、始めは意欲的に取り組んでいるが、途中で学習活動が停滞してしまうような場面が何度かあり、どうしてかと考えていた。



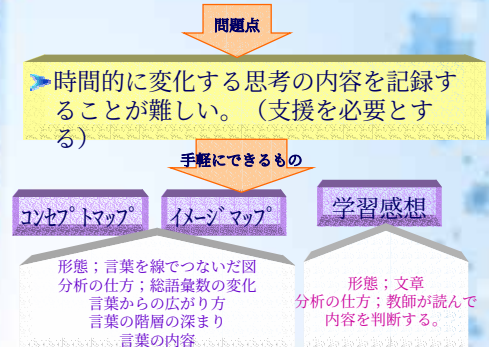
考えられる問題点



問題解決のために



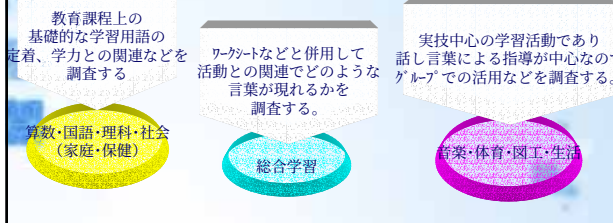
児童の思考過程を知る手がかり



予備調査について

➤ 教科・学習活動の内容・形態について、その特徴を考慮しながら、「学習用語」の視点から多様な場面を想定して調査する。

➤ 普段の授業の中で言葉を線でつないだ図を描かせる。



予備調査 (2004年10月～11月)

・10月13日(水) 4限、10月20日(水) 4限 3年生 社会・総合「サズ(地域の大型店)をしらべよう」(イメージマップ・個人・プレ・ポスト)

・10月14日(木) 5・6限 5年生 総合学習「白子の海を調べよう」インターネットによる情報検索活動(イメージマップ・個人)

・10月18日(月) 4限、11月8日(月) 4限 5年生 理科「わたしたちの気象台」(コンセプトマップ・個人・プレ・ポスト)

・10月26日(火) 4限、11月16日(火) 4限 5年生 音楽「まっかな秋」(イメージマップ・グループ・プレ・ポスト)

予備調査結果(5)

	活動後の総語彙数	言葉の内容	構造的性
総合学習 体験活動 見学	増加は少数で、ほとんど変わらない。	ほとんど変化なし	単線的で言葉の関係までは難しい。
PCを使用したインターネット情報検索活動	増加した	調べて知った言葉が混在	階層が浅く、言葉の関係までは難しい。調べる課題が大切。
通常の理科学習	大きく増加した	学習用語、知っている言葉が混在	教師の直接的な指導が多く、言葉の関係もほぼ正しい。

予備調査結果の全体的考察

・いきなり言葉をつなげた図を書かせることは難しく、第一段階として単語を単位として指導する必要がある。

・児童の年齢による発達段階によって図の構造に特徴が見られる。

・図を書かせるときに、教師が与える言葉や助言などと図の内容が強く関連している。与え方にも工夫が必要である。

・理科などその学習内容自体に基礎的な学習用語の習得を含む場合、学習活動の前後で総語彙数は増加する。また、階層も深まる。

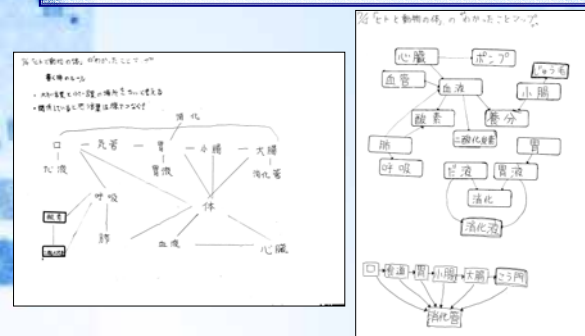
・体験活動の前後で常に言葉が増加するわけではなく、また、情報検索活動の前後で常に言葉の階層が深まるわけではない。

「学習用語に着目した授業の展と学習効果の分析」(実験授業概要)

・2005.4月～7月 6年生理科の授業で言葉のマップを書かせる。
・2005.7月 実験授業 6年生理科既習単元「ヒトと動物の体」

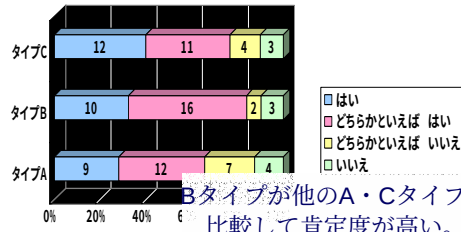
1学期の授業内容	通常	通常+言葉のマップ	通常
実験グループ	ヒントなし 言葉を与える	ヒントなし 言葉を与える	ヒントなし 言葉を与える
グループ名	Aタイプ	Bタイプ	C-Iタイプ

C-IIタイプに使用させた児童自身が作成した言葉をつないだ図の例(キーワードマップ)



課題終了後のアンケート結果

学習したことがよく思い出せましたか？

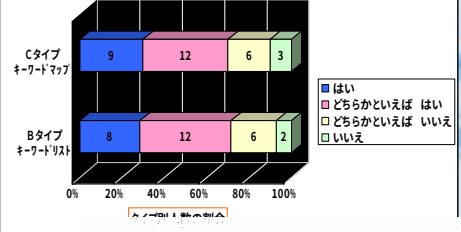


Bタイプが他のA・Cタイプに比較して肯定度が高い。

タイプ別人数の割合

課題終了後のアンケート結果

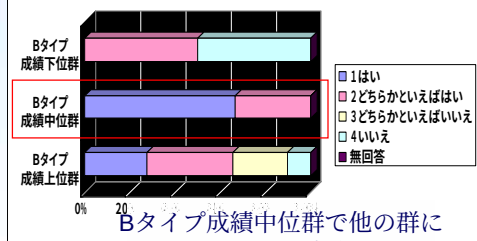
ヒントの資料は学習したことを思い出すのに役に立ちましたか？



B・Cタイプで回答にほとんど差はなかった。

課題終了後のアンケート結果

ヒントは役に立ちましたか？



Bタイプ成績中位群で他の群に比較してかなり肯定度が高い。

ありがとうございました。

今後の小学校現場について思うこと

- ・個人差・学校間格差が広がるだろう。
- ・少子化で個人に手厚い教育が行われるだろう。
- (グループ活動でも個々の個人に力がかからないと説得力がない)
- ・児童のプライドをどう扱うか？
- ・社会性の不足をどう補うか？
- (グループ作業が以前に比較して低下)
- ・進路まで見通した小学校教育とは？

今後の予定

- ・8月 兵庫教育大学関連
「総合学習についての研究会」
(神戸サテライト)
- ・9月 科学教育学会年会 (岐阜)